

2019年度 地域連携活動報告書

連携先名称：福島県北塩原村

協定締結日：2016/3/22

活動状況：継続中

連携先窓口：北塩原村役場農林課

活動資金：自治体予算

担当教員（所属）：野口智弘（応用生物科学部食品加工技術センター）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：入江憲治（国際農業開発学科）、平野 繁（農学部農学科）

活動目的：学生と自治体住民との交流と地場農産物を利用した農産加工品開発を通し、活性化を目指す。

活動内容・成果：

1. 学生北塩畑村モニターツアー

秋のモニターツアー（9月12日～15日）：16名

冬のモニターツアー（2月8日～10日）：16名

2. 農業実習受け入れ

北塩原村の農家にて本学学生の農業実習と受け入れを実施

農業実習生：51名、延べ87日間

3. 農産品および観光資源開発

数年前に導入したエミューの飼育が軌道に乗り、本年度から加工品開発に向け、現地自治体および洋菓子店などとともにエミュー関連商品の開発を実施している。

課題・改善点：

北塩原村との連携協定事業は、行政から多大な支援が得られ、これまでも多くの学生が村内で研修を受け入れていただいている。

連携開始当初は、農家さんでの受け入れ等において、現地農家さんに多大な負担と不安を強いていたが、双方の理解が進む中でその負担が和らいでいるものと考え、良い連携が取れていると考える。

一方で、観光資源の開発において、農産物栽培の拡大や農産物加工の開発などは、道半ばであり観光客の増加や農産物売り上げ増加といった現実の数値への効果は表れていない。今後、エミューを中心とした観光及び農産物加工品の開発を進め、地域活性化を目指したい。